

Symphonic

TCM

東京音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブル

特別演奏会

2023年7月13日[木]ウエスタ川越 大ホール
18:00開演/17:00開場 | 全席指定 1,000円

第54回 定期演奏会

2023年7月14日[金]東京芸術劇場 コンサートホール
18:00開演/17:00ロビー開場/17:15開場 | 全席指定 1,500円

Wind Ensemble



Kentaro Kawase



Kenta Igarashi

指揮：川瀬 賢太郎

サクソフォン：五十嵐 健太 (第37回日本管打楽器コンクール特別大賞、本学4年在学)

演奏：東京音楽大学シンフォニック ウインド アンサンブル

E. シャブリエ (編曲：Koninkx) / 楽しい行進曲

H. トマジ (編曲：仲田守) / サクソフォン協奏曲

2023年度 全日本吹奏楽コンクール課題曲

I. 牧野圭吾 / 行進曲「煌めきの朝」

II. 宮下秀樹 / ポロネーズとアリア〜吹奏楽のために〜

III. 天野正道 / レトロ

IV. 水口 透 / マーチ「ペガサスの夢」

M. ラヴェル (編曲：村田昌己) / ポレロ

M. ラヴェル (編曲：真島俊夫) /

バレエ音楽「ダフニスとクロエ」より 第2組曲

2023年5月15日[月]10:00より一般予約受付開始

本公演は新型コロナウイルス感染防止のため、対策を講じて行います。



東京音楽大学チケットサイト

<https://www.s2.e-get.jp/TCM/pt/>

※発券の際、1枚ごとに事務手数料385円(消費税含む)がチケット代金とは別途かかりますので、ご了承ください。

※在学生は、本学より付与されている会員アカウントをご利用ください。

※やむを得ぬ理由により、出演者、曲目等変更の可能性がございますので、ご了承ください。

※乳幼児のご入場はご遠慮ください。また、車椅子をご利用の方は演奏課までお問い合わせください。

東京音楽大学
情報チャンネル

当公演は、後日、東京音楽大学 演奏会
情報チャンネルにて動画配信の予定です。



主催▶東京音楽大学

後援▶(東京公演)豊島区、東京都吹奏楽連盟
(埼玉公演)埼玉県吹奏楽連盟

会場案内

ウエスタ川越▶川越市新宿町1-17-17 <https://www.westa-kawagoe.jp/>

・JR川越線、東武東上線「川越駅」西口より徒歩約5分 ・西部新宿線「本川越駅」より徒歩約15分

東京芸術劇場▶豊島区西池袋1-8-1 <https://www.geigeki.jp>

池袋駅(JR/東京メトロ/東武東上線/西武池袋線)下車、西口地下通路2b出口直結



©Yoshinori Kurozawa

川瀬 賢太郎 | 指揮

1984年東京生まれ。2007年東京音楽大学音楽学部音楽学科作曲指揮専攻(指揮)を卒業。これまでに指揮を広上淳一などの各氏に師事。2006年10月、東京国際音楽コンクール〈指揮〉において2位(最高位)に入賞。2011年4月には名古屋フィルハーモニー交響楽団指揮者に就任、2014年4月より神奈川フィルハーモニー管弦楽団常任指揮者に就任(2022年3月末まで)。卓越したプログラミングを躍動感あふれる演奏で聴衆に届けている。

海外においてもイル・ド・フランス国立オーケストラとの共演や、ユナイテッド・インストゥルメンツ・オヴ・ルシリンと共演。オペラにおいても、細川俊夫作曲「班女」、モーツァルト作曲「フィガロの結婚」、ヴェルディ作曲「アイダ」などを指揮、目覚ましい活躍を遂げている。

現在、名古屋フィルハーモニー交響楽団正指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢パーマネント・コンダクター、札幌交響楽団正指揮者、三重県いなべ市親善大使。2015年渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2016年第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第26回出光音楽賞などを受賞。東京音楽大学作曲指揮専攻(指揮)特任講師。2023年4月より名古屋フィルハーモニー交響楽団第6代音楽監督に就任。



五十嵐 健太 | サクソフォーン

群馬県伊勢崎市生まれ。5歳の時、母親とウクライナのキーウへ移住。

7歳よりサクソフォーンとピアノを始める。2019年に国際ヨーロッパサクソフォーンフォーラム第1位、2020年にヤマハミュージックガルフスカラシップ、2022年に第37回日本管打楽器コンクールサクソフォーン部門第1位及び内閣総理大臣賞、特別大賞受賞など、30以上の国際コンクールで入賞している。

キーウサクソフォーンカルテットで演奏、またソリストとしてウクライナの優れたオーケストラと共演する。これまでに、中国、ギリシャ、ポーランド、アラブ首長国連邦、ウクライナなどの都市でコンサートに出演。

現在、特別特待奨学生として東京音楽大学4年に在学、波多江史朗氏に師事。

2022年よりヤナギサワカンパニーのアーティストになる。



東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブル

東京音楽大学シンフォニックウインドアンサンブルは「吹奏楽」授業科目の器楽専攻(管打楽器)履修者により構成。1970年に第1回定期演奏会を開催以来、定期演奏会を東京芸術劇場を中心に行う他、2022年創立115周年特別演奏会(サントリーホール)に出演等、活発な演奏活動を行っている。近年では東京商工会議所豊島支部青年部や豊島区立南池袋小学校の主催公演に毎回出演し、地域の子供たちとの交流も図っている。その他、地方での記念事業演奏会、ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン等にも度々出演。海外ではアメリカ、中国、東西ドイツ、オーストリア・ハンガリー、台湾の各都市で演奏旅行を行い、国際親善にも重要な役割を果たしている。2023年度は第12回避難訓練コンサート(めぐろパーシモンホール)の他、定期演奏会、特別演奏会に出演する。

東京音楽大学主催演奏会 運営について

東京音楽大学主催演奏会では、新型コロナウイルスの感染防止のための対策を講じて、お客様に安心して公演をご鑑賞いただけるよう努めております。右記QRコードで東京音楽大学HPの「東京音楽大学主催演奏会の運営について」を必ずご確認の上、ご来場ください。なお、体調不良が見受けられる場合は、入場をお断りする場合がございます。予め、ご了承ください。



演奏会での標準的なSDGsの取組

東京音楽大学は「東京音楽大学環境方針」を踏まえ、「音楽と社会をつなげる」をミッションに、学生・教職員が一体となって、地域社会・事業者等との連携により、SDGsに積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献することとしました。各々の演奏会では、学生・教職員は、標準としてSDGsが掲げる17の目標のうち、次の6つを意識し、音楽が持つ特性を十分に発揮し、素晴らしい感動と未来への夢などを提供することを目指すこととします。



3. すべての人に健康と福祉を | 演奏会は、心に安らぎや、活力を与えてくれます。



4. 質の高い教育をみんなに | 演奏会は、生涯学習の一端を担います。



10. 人や国の不平等をなくそう | 演奏曲は、その曲の作者やその時代背景などからその国や人を理解するきっかけをつくり、不平等をなくす営みを促します。



11. 住み続けられるまちづくりを | 演奏会は、鑑賞していただく周辺地域の方々と共に創り上げて行くものです。本学では、この姿勢をまちづくりに展開することを目指し、エリアマネジメントの取組を進めております。



16. 平和と公正をすべての人に | 演奏会は、分け隔てなく参加することができます。この精神をみなさんにお伝えし、平和と公正を促して行くことが責務と考えています。



17. パートナースHIPで目標を達成しよう | 演奏会には、大勢の人との協力が不可欠です。この姿勢は様々な目標を成就させるための重要な要素です。本学は、演奏会参加者が、この姿勢をより深く、持続可能な社会の実現に貢献できる人材育成に寄与します。